

今号のトピックス

- 1 ページ ・実務研修会案内 ・研修部活動報告
- 2 ページ ・全国公立小中学校事務職員研究会兵庫支部 研究大会報告



実務研修会 宿泊行事にかかる事務について

12月4日(木) 15時～ 港区民センター 7階ホール

令和7年12月4日(木)に、大阪市立港区民センターにて、「宿泊行事にかかる事務について」をテーマに実務研修会を開催いたします。今回の実務研修会では、宿泊行事にかかる事務の流れを、準備から実施、実施後の処理まで時系列に沿った形で資料にまとめました。各業務において気を付けるべきポイントや、関係教職員との連携や調整の仕方などについて、具体例を交えて分かりやすく解説します。また、パワーポイントは実務をよりイメージできるように、学校現場での事例を紹介するなど、内容に工夫を凝らして作成しました。研修会当日は問題をいくつか出題し、参加者同士で意見を交流する時間を設ける予定です。

本研修会が効率的に業務を進めるに当たっての一助となれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしています。



研修部活動報告



研修部は現在7名で活動しており、会員の職能形成や資質向上を目的として月に一回程度会議を開催し、「実務研修会」や例年5月に行われる「総会前研修」の企画・資料作成を行っています。

10月の研修部会では、実務研修会に向けて資料の確認や、当日会場で投影するパワーポイントの作成などを行いました。また、学校現場での事例については今年も寸劇により、確認すべきポイントなどを解説することとしました。





寸劇の撮影に当たっては事前に役割やセリフを決めておき、当日も表情やポーズの意見を出し合うなど、参加される方にとってより分かりやすいものとなるように、熱意をもって取り組みました。

研修部では、「専門部としての役割を堅実に果たすなかで、楽しむ気持ちも大切にする」をモットーに活動しています。資料作成だけでなく寸劇を取り入れるなど、実務研修会にお越しいただく皆様にとって、有意義な研修となるよう努めていますので、当日は是非会場へお越しください。



第 15 回 全国公立小中学校事務職員研究会兵庫支部 研究大会



令和7年10月3日（金）に兵庫県立のじぎく会館において、「∞ ～『できない』を『できる』に変える学校事務職員～」を大会テーマに、第15回全国公立小中学校事務職員研究会兵庫支部研究大会が開催されました。

開会行事のあと、全国公立小中学校事務職員研究会（以下、全事研）会長 前田 雄仁 様より、全事研本部活動報告として、先進地の視察報告と全事研のミッションやビジョンをはじめ、研究の推進や研修の充実に向けた取組、全事研組織の在り方と持続可能な研究会活動の在り方について検討を重ねて策定した「ブルーバードプラン」などについて報告がありました。

次に、全事研兵庫支部 研究部より、大会テーマでもある「∞ ～『できない』を『できる』に変える学校事務職員～」と題し、8月1日に滋賀県で開催された第57回全事研大会で担当した第3分科会の研究報告と、研究を通して見えてきた課題、その解消に向けた取組と今後の展望などについて提案発表がありました。

続いて、京都産業大学 名誉教授 西川 信廣 様より、「子どもたちの幸せを願う学校事務職員の挑戦 ～新しい学校運営と地域連携を通して～」と題し、第57回全事研大会第3分科会の研究報告についての講評と、「地域とともにある学校」への転換を図るために「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入することの重要性や学校の現状と課題などについて述べられました。また、講演の最後には兵庫県の学校事務職員に期待することとして、「五国の国ひょうごの異なる歴史や文化など、地域の特性を活かした活動を展開してほしい」というメッセージを贈り、大会は盛会のうちに終了しました。



編集後記

今回初めて研修部会に参加しました ✨ 昨年までは完成した寸劇を見ていましたが、実際の撮影現場は思った以上に活気があり、研修部の皆さんの熱意が伝わってきました 😊 一人一人が意見を出し合いながら工夫している姿に刺激を受け、とても貴重な経験になりました 💡

だんだんと寒くなってきましたが、実務研修会に向けた熱気が少しでも会員の皆様に伝わり、有意義な研修会となれば嬉しいです ❄️ (N)